

RPPC メールマガジン 第 706 号

リサイクルポート推進協議会(平成 29 年 12 月 20 日発行)

■先週・今週の報道発表

1. 産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会
小型家電リサイクルワーキンググループ(第3回) 中央環境審議会
循環型社会部会小型電気電子機器リサイクル制度及び使用済製品中の
有用金属の再生利用に関する小委員会(第 16 回)合同会合の開催について
(平成 29 年 12 月 18 日)
2. 「港湾の中長期政策『PORT 2030』中間とりまとめ」の公表・パブコメ実施
(平成 29 年 12 月 18 日)

■RPPC 事務局からのお知らせ

1. NPO 法人山形県リサイクルポート情報センターのメルマガを添付いたしました。
2. リサイクルポート推進協議会活動に関する意見交換会の開催について

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 酒田港リサイクルポートの現況、取扱増える
2. 「新・経済政策パッケージ」閣議決定
3. 佐世保港のクルーズバース手続きへ

=====

◇先週・今週の報道発表

1. 産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会
小型家電リサイクルワーキンググループ(第3回) 中央環境審議会
循環型社会部会小型電気電子機器リサイクル制度及び使用済製品中の
有用金属の再生利用に関する小委員会(第 16 回)合同会合の開催について

※詳細については下記 URL をご確認ください。

<http://www.env.go.jp/press/104951.html>

2. 交通政策審議会港湾分科会では、2030 年頃の将来を見据え、
我が国経済・産業の発展や国民生活の質の向上のために港湾が果たすべき

役割や、今後特に推進すべき港湾政策の方向性等について議論を進めてきました。これまでの議論を踏まえ、この度、港湾の中長期政策「PORT 2030」の中間とりまとめを公表しました。

また、平成 30 年夏頃予定の最終とりまとめに向けて、本中間とりまとめについてパブリックコメントにて意見募集を開始します。

※詳細については下記 URL をご確認ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/port03_hh_000037.html

=====

◇RPPC 事務局からのお知らせ

1.NPO 法人山形県リサイクルポート情報センターのメルマガ 27 号を添付いたしました。

2.リサイクルポート推進協議会活動に関する意見交換会を開催しました。

～平成 29 年 12 月 18 日、糸魚川市にて～

※写真を添付いたしましたのでご覧ください。

=====

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 酒田港リサイクルポートの現況、取扱増える

山形県は 11 月末に開催した「山形県酒田港ポートセミナー in 東京」で、酒田港のリサイクルポートの現況について報告した。

角湯県土整備部長が酒田港の港湾機能を紹介し、その中でリサイクルポートに言及した。それによるとリサイクル貨物の取扱量は昨年 43 万 t で、リサイクルポート指定前年の平成 14 年と比べ約 2・4 倍に増加。主なリサイクル材は石炭灰、金属くず、廃プラスチック、中古自動車部品など。

またリサイクル関連企業は平成 14 年時点で 7 社が立地していたが、現在は 15 社になり、多様なリサイクル材を取り扱っている。

そのほか風力発電や太陽光発電、バイオマス発電など再生可能エネルギー関連の業種も増加しており、エネルギー基地としての新たな関連分野の企業進出も期待される、と話した。

また、NPO 法人山形県リサイクルポート情報センターが資源の需給の

マッチングや企業連携のサポートを行っているとし、「酒田港のリサイクル関連企業とのマッチングをお考えの際には、ご協力させていただきたい」と呼びかけた。

.....

2. 「新・経済政策パッケージ」閣議決定

政府は12月8日、生産性革命と人づくり革命を柱とする「新しい経済政策パッケージ」を閣議決定した。2020年までの3年間、人材、設備への投資を大幅に促す施策を展開する。

港湾分野の施策では国際海上コンテナターミナル物流の生産性向上を図る。荷役機械の遠隔操作化に必要な基準類の整備やAI等の活用によりターミナル経営全体を効率化・最適化し世界最高水準の生産性を有する「AIターミナル」の実現に向け、その具体的な目標と工程を来年度中に策定・公表する、としている。

.....

3. 佐世保港のクルーズバース手続きへ

九州地方整備局長崎港湾・空港整備事務所は、佐世保港浦頭地区に計画しているクルーズバースの築造工事の入札手続きを開始した。佐世保港浦頭地区のクルーズバースは、官民連携による国際クルーズ拠点を形成する港湾として選定されている。同岸壁は岸壁本体となる延長270m（ジャケット式で延長約67m×4基）とドルフィンで構成しており、今回入札手続きを開始したのは先端のジャケット2基の製作・築造。工期は平成31年3月20日となっている。

佐世保港浦頭地区クルーズバースは港湾計画に水深12m岸壁延長410mが位置付けられているが、当面の入港が見込まれる同港へのクルーズ船型に対応し、水深10m延長370mが事業化対象になっている。岸壁本体として270mをジャケット構造で整備し、先端の100mはドルフィン構造で対応する。

【港湾空港タイムス 12月18日号から編集】

////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長代行：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：青木 信裕 新日鐵住金（株）

山崎 和宣 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

ツネイシカムテックス（株）

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、安田

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。